

同 志 社 大 学

2013 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014 年 3 月 17 日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル コミュニケーション 学部	准教授	竹田 宗継
研 究 題 目	高等教育におけるビジネス英語教授法研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究は、「ビジネスの場において一定の現実的効果をあげることを目的とする意思伝達に用いられる英語（井 2003）」と定義されるビジネス英語について、国内および英米大学機関における授業の事例や研究論文などを参考に非英語母語話者（日本人学生）に対する普遍的かつ効果的な教授法を確立することを目標として進めてきた。</p> <p>本年は、ビジネス・コミュニケーションの背景となる国際商取引、国際経営の枠組みと流れについてビジネスフロー・シミュレーションを使った教授法並びにメッセージ伝達に必要な特殊語彙、統語、およびテキスト構造についてケースメソッドを使った教授法について学会報告の事例や各種文献を参考に研究を行った。</p> <p>同時に、異文化間におけるビジネス・コミュニケーションに極めて重要な要素であるメッセージを論理的に構成・発信する能力とコミュニケーション相手の価値観、文化、歴史的背景を理解するための効果的学習方法についての検証を行った。</p> <p>以上の研究に関連し本年は以下論文を寄稿した。 ・「経済のグローバル化と第二外国語習得の意義について」『同志社商学』第 65 巻第 5 号（2014 年 3 月）</p> <p>合わせて本研究成果応用の一端として、自身の担当するプロフェッショナル・イングリッシュの授業において、ビジネス英語のテクニカル的要素とビジネスの基本構造（国際ビジネス取引、経営）を並行して教授することを試験的に行なった。授業では、ビジネスと英語コミュニケーションの具体的な事例や自身の企業における実務経験などを提示する講義と学生によるバーチャル企業立ち上げプロジェクトを進め、履修生の実践的ビジネス英語能力の強化につなげることを試みた。</p>	